

1

みよし
広島県三次市

6次産業化

雇用

教育機関
との連携

かぶしがいいしやふくだのうじょう

株式会社福田農場

～「地域と共に」農業を希望と期待の産業に～



JICA中米女性の訪問研修



2011年開店した米粉パン製造販売の“米豊霧”

経緯

- 平成17年から西組営農組合(36戸)では、高齢化、担い手不足による農用地の有効活用と荒廃による集落環境の悪化防止を重要課題として議論。
- 農業政策の変化に対応し、消費者ニーズを捉えた決断と実行の経営責任を伴う集落型経営として株式会社を設立。

取組内容

- 西組集落農地(36ha)を含め、他地域からの集積にも対応した農地の有効活用。
- 市民農園の設置や収穫感謝祭を実施し、園児、小学生の農業体験や消費者との交流。
- 集落と共同で、農業資源を活用した味噌・餅等の加工販売、平成23年度からは、米粉パン製造販売。

活動の効果

- 「地域と共に」を経営理念に掲げ、地域の人との良好な絆を最も重要とし、
 - ・地域住民の優先雇用
 - ・集落農家の自家用伝統食品(味噌等)づくり
 - ・農業機械の共同利用による投資抑制支援
 など、農業経営を通じて集落住民の豊かさ、地域振興に貢献。
- 従業員の就労満足が生産性改善・向上につながると考え、就業規則を定め、社会保険加入、退職金制度に加入。

応募団体からのアピール・メッセージ

「地域と共に」を経営理念に、地域の営農組合と連携し多彩な6次産業との複合経営による農業の魅力創造・発信して、地域の魅力づくりに取り組んでいきたい。

三次市和知町2682-2 Tel: 0824-65-2765

かわにしじちれんごうかい

川西自治連合会

～住民自治で田舎暮らしが楽しいまちづくり～



県内から広く集まった参加者



地域内で支え合い運営する「支え合い交通」

経緯

- 地域の住民は、人口減少とともに地域内産業は衰退し金融や商店等も撤退し、将来への不安や危機感を感じていた。
- 地域に誇りを持ち安心して暮らし続けるため、自らビジョン策定委員会を立ち上げ、地域の将来像を描くことを最重要課題として取り組むこととした。

取組内容

- 地域内に点在する「堂さん」を資源に川西よりみちライド&ウォークで地域の魅力を発信。
- 交通弱者が増えていく中、2018年12月から「支え合い交通」の実証実験を(株)マツダと実施。
- デジタルを活用し、昨年度から川西アプリを用いた双方向の情報発信。

活動の効果

- NPO法人とタイアップしたライド&ウォークイベントは、県内各地から参加応募があり、好評。住民との温かい交流が生まれる関係人口イベントへ。
- 住民で支え合う「支え合い交通」は、中山間地で暮らし続けられることへの安心感を醸成。
- 従来の紙媒体での情報発信も継続しつつ、一人暮らしの家庭でもタブレットを用いた双方向の情報伝達が行えるようになり、遠隔で健康教室を開催することができた。

応募団体からのアピール・メッセージ

住民同士が支え合う移動手段、当たり前になりアプリが使える新しい生活様式など、ビジョンに沿った取り組みで田舎暮らしが楽しいと感じるまちづくりに取り組んでいきたい。

3

みよし
広島県三次市

雇用

女性の活躍

若者の就労
意欲向上支援

奨励賞

のうじくみあいほうじん

たかはた

農事組合法人 高幡

～自然と土地の恵みを生かす持続可能な農業～



早朝からアスパラガス収穫を支える集落女性



共同活動の取水堰の土砂撤去・左代表理事

経緯

- 平成14年、担い手や農地の保全等に課題が生じている中、集落内40代・50代の3人が会社退職後、就農。
- 既存の機械共同利用を主体とした任意組織で持続不可能と判断。
- 平成15年、主体的な農地利用による農業振興と地域づくりを目指す特定農業法人として、農事組合法人高幡を設立。

取組内容

- 水稲中心の土地利用型作物にアスパラガスを組み合わせた複合経営。水稲苗の育苗に浮楽育苗方式を採用。
- 社会参加不得手者の就労の場。
- 会社退職者が業務の中核として就労活躍。
- 中山間直接支払協定組織等の組合員として集落の共同作業を積極的に支援。
- 小学校のアスパラガスの収穫体験、学習受け入れとともに、給食の食材として提供。

活動の効果

- 設立時29戸、15haが、令和3年には37戸、25.8haと、集落内外で組合員や農地集積が進んでおり、ドローンによる作業受託やもち麦等の特産化を目指す。
- 健康に問題があったりコミュニケーションが苦手など社会参加困難者や退職後の人生の活躍の場として、多様な人材に積極的な就労機会を提供。
- アスパラガス栽培は、プロの栽培人として評価されており、JA関係者や農業者からの技術指導、視察の依頼を多く受け入れている。

応募団体からのアピール・メッセージ

人を育て、アスパラガスの収益率改善やもち麦の特産化推進、ドローンの作業受託の拡大など、農地を生かす持続可能な複合経営に今後も取り組みます。

三次市君田町石原167番地 Tel:0824-53-2621

4

しょうばら
広島県庄原市

地産地消

雇用

食育・教育



特別賞

かぶしがいいしやしのうむらのうきち

株式会社敷信村農吉

かけがえのないもの。こと。



保育所では、田んぼ・園庭の畑で農作物を育てる



地元生乳100%の手作りチーズは国内外で高評価

経緯

- 平成18年当時、市内出生者の減少に伴い複数の保育所を統廃合し、運営を民間委託していく方針の下で、地域の有志が、自分達で地元の保育所を運営する会社を設立。
- 里山の自然を生かした保育所運営を中心に、地域の「農」「里山の暮らし」の活性化を目指す。

取組内容

- 地域特性を生かした、里山の自然・地域の人達との交流・農が身近な保育を実践。
- 農家所得の向上や地域内交流活性化のため、近隣都市百貨店や飲食店に、地元野菜の販売・卸を開始。
- 当地域は「日本酪農の礎を築いた地」であることを知った地元の若者が、地元生乳を原料としたチーズ製造開始。

活動の効果

- 保育所給食は、自社農園で自ら育てるコシヒカリや地元旬野菜が中心。
- 平成27年から、地域に根差した農で暮らせるビジネスモデルを作り、耕作放棄地を活用した自社農場をスタート。
- 平成25年度に新設したチーズ工房で製造するチーズは、国内外のチーズコンテストで相次いで受賞するなど、市場評価も好調で存在感のあるチーズ工房に成長。

応募団体からのアピール・メッセージ

庄原市を活性化するため、地域密着型の事業を展開。里山の恵みを生かした保育、地元の生乳を使ったナチュラルチーズをご賞味下さい。

広島県庄原市板橋町1358-1 Fax: 0824-72-1824

5

しょうばら
広島県庄原市

地産地消

食育・教育

女性の活躍

とみ ゆか
富 由香(よもぎカフェ)

～食を通してのコミュニケーションで活力を！～



フリースクールスイス村で生産した
農産物を利用した旬変わりの創作料理



フリースクールスイス村の農作業

経緯

- ふるさと庄原市で、当初予定していなかったよもぎカフェを開業。
- 前職で培ったマーケティングの発想と知識を活かし、
 - ・「地域活性化」
 - ・「女性支援」
 - ・「自立支援」
 という3つのやるべき事に取り組む。

取組内容

- よもぎカフェでは、自然と季節を感じる料理を心掛け、野菜、放牧豚、ニジマスを自給自足するなどオーガニック食材を提供。
- 婚活パーティーの開催や、口和自治振興区の振興計画策定プロジェクト委員として地域振興に取り組む。
- 同一敷地内の父親が経営するフリースクール(一般社団法人スイス村)との共同で、地域スポーツイベント、野菜作り教室や正直野菜の定期便等を実施。

活動の効果

- 高齢者が多い庄原市口和町地域で、若者との交流は非常に貴重で、生徒にとっても有意義な体験の場を提供。
- マーケティングに関しては、前職の経験を活かし、柔軟な発想と知識を活用して地域イベントやコラボで地域を活性化。
- 自然豊かな環境や地域のネットワークを活用して、地域全体が活性化できるビジネスフローの構築を目指している。

応募者からのアピール・メッセージ

地域のイベントやコラボでの地元の活性化をはかり、物販やイベント等、女性が働ける雇用環境や学生の農業研修など地域との架け橋になるよう取り組んでいきたい。

庄原市口和町宮内285 Tel: 090-4570-9996

6

おおたけ
広島県大竹市

伝統の継承

奨励賞

わしほぞんかい

おおたけ手すき和紙保存会

～地元産の楮にこだわった手すき和紙づくり～



流し漉(す)きの技法で1枚1枚 漉きあげる



楮の脇芽を摘んで真っ直ぐ大きく成長させる

経緯

- 江戸時代から続く防鹿地区の和紙生産が衰退し、ただ1人の製紙家が守ってきた。
- 同地区住民が保存会を発足させ、原料の楮栽培から紙すきまでの一連作業を行ってきたが、会員の高齢化で活動が困難。
- 伝統を絶やすまいと地域内外の有志による作業の手伝い等、新たな会員による活動を開始。

取組内容

- 400年以上続く手すき和紙の製造技術を継承するため、和紙作業所で年間2千枚程度を生産。
- 大竹市内の畑6カ所で楮を栽培し、刈取りから皮を剥ぐまでを多くのボランティアの協力により手作業で実施。
- おおたけ手すき和紙の里に体験学習棟を設置し、紙すき体験や各種の講座を開催し、幅広い世代に手すき和紙の魅力を発信。

活動の効果

- 国産楮の生産が激減する中、「地元の紙は地元の原料で」と楮やトロロアオイの栽培を続け、過酷な作業も多いがボランティアの協力で栽培量を拡大。
- 大竹市内及び近隣小・中・高校の出前授業(座学・紙すき体験)の実施、校内に楮の植付け等により子供達への地域教育の一翼を担う。
- 漆造形専攻学生が、数ヶ月の和紙づくり作業体験後、和紙と漆のコラボ作品として装飾タイルを創作するなど和紙の可能性を広げる。

応募団体からのアピール・メッセージ

地元産原料にこだわり、生産者としての責任を持って紙すきを継続し、受け継いできた技術・技法を次世代に残していく。

大竹市防鹿3365 Tel:0827-93-3576

7

ひがしひろしま
広島県東広島市

6次産業化

高齢者の
活躍

学生・若者の
活躍

奨励賞

な はな
菜の花くらぶ

～菜の花で特産品と地域の誇りを生み出す～



菜の花収穫の様子



商品の梱包作業

経緯

- 若い世代に届く地域特産品がないことや家庭菜園などのコミュニティが健康に寄与していることに気づく。
- 「緩やかに続くコミュニティづくり」と「お母さん方の手仕事と学生の新しい発想から生まれるものづくり」の両立を目指し、地域特産品作りをスタート。

取組内容

- 地域おこし協力隊・学生・地域住民が連携し、地域特産品「菜の花 Salad Salt」を製作・販売。
- 学生の声から、町内お米農家とのコラボ商品「菜の花おむすびセット」が実現。
- 町内2店舗に商品設置、地域内周知のための地域センターへの商品設置や、全国発信のためのインターネット販売も実施。

活動の効果

- 町民・学生・地域おこし協力隊が集まり商品を仕込むことで、世代間交流が生まれ、地域コミュニティの形成に貢献。
- 商品数増大のため、町内の一般家庭・農家との契約数を増やすことで、地域を活性化。
- 学生の声から実現したギフトセット「菜の花おむすびセット」で、米農家の既存顧客の「菜の花 Salad Salt」の認知も広がった。

応募団体からのアピール・メッセージ

「町民に愛されながら作り続けられること」「販路を拡大し商品周知を広げること」を念頭にコミュニティビジネスとしての定着を目指す。

東広島市豊栄町 Tel: 090-2436-0529



ばんこけいようぎょかんこうかぶしきがいしゃ

万古溪養魚観光株式会社

～海と川を行き来し、鱒！！～



左:内水面のみで養殖 右:海面養殖を経た魚



子供から大人まで楽しめる釣堀施設

経緯

- 溪流魚販売では、冬季の売上げが少なく、雇用維持が困難。
- 冬季に養殖可能な魚が限られ、同様の悩みを抱えていた広島県内の海面養殖業者や市場関係者と連携し、海と川で養殖可能なニジマスの生産を開始。

取組内容

- 川と海の養殖業者が卵から成魚まで一貫生産し、1年目の種苗から海面飼育した大型種苗により、早期出荷と大型化を実現。
- 出荷規格外のニジマス釣堀用として有効活用。釣り堀で釣った魚をその場で楽しめる賑わい食事処を併設。
- 市内の短期大学と連携し、「誰でも気軽に食べられるニジマスレシピ」を考案。

活動の効果

- 県内のホテル・飲食店等でフランス料理や日本食の食材として提供され、消費拡大に貢献。
- 地元保育園・小中学校での給食、市内ゆかりの球団、地域イベントへ食材提供を行い、食育、地産地消や地域活性化に貢献。
- 地域の雇用が増加。(30代以下の従業員が2014年0名から2021年4名に)

応募団体からのアピール・メッセージ

独自の養殖技術により、瀬戸内レモンがたっぷり練り込まれた餌と、無投薬で育ったニジマスは絶品！たくさんの人に「美味しい！！」をお届けします。

廿日市市虫所山74 Tel: 0829-72-0012

9

あきたかた
広島県安芸高田市

6次産業化

奨励賞

ひろしまけんりつよしだこうとうがっこう
広島県立吉田高等学校 アグリビジネス科

～ブドウを通してみんな笑顔に！～



ブドウの収穫の様子



道の駅でのブドウ販売の様子

経緯

- 農業者の高齢化や後継者不足等により、地域農業の衰退が危ぶまれる中、できることからスタート。
- 地域農業を盛り上げ、活性化していくために、アグリビジネス科の主力生産物であるブドウの生産ノウハウや販売実習等を積極的に展開。

取組内容

- 実験場で生産したブドウを、道の駅で地域の方々に販売。生徒は生産から流通・販売までの一貫した流れを学習。
- JA広島北部・安芸高田市役所主催「アグリセミナー『ブドウ現地研修会』」において、教師と生徒がブドウの生産やプロジェクト活動について説明。

活動の効果

- アグリセミナーでは、セミナー参加者と生徒が、高品質なブドウ生産に向けた有意義な技術交換や意見交換を行うことができた。
- ブドウの生産・流通に係る技術改善や普及研究などの学習活動の成果や、農業の魅力を積極的に発信し、地域農業の活性化や地域の発展に貢献。

応募団体からのアピール・メッセージ

地域農業の活性化を目標に、地域農業の抱える課題解決に向けた活動を充実・発展させ、積極的に情報発信するとともに農業への理解や関心を高めていきたい。

安芸高田市吉田町吉田719-3 Tel: 0826-42-0031